

はじめに



近年、少子高齢化の進行や家族形態・ライフスタイルの多様化、地域コミュニティの変容等、社会を取り巻く環境は大きく変化しており、育児や介護、就労をめぐる問題がますます複雑化・深刻化しています。

その一方で、「男は仕事、女は家庭」という固定的な性別役割分担意識や慣習・しきたりは、未だ根強く残っており、負担や責任が男女どちらかに偏ることによってさまざまな問題の解決を困難にしている状況にあります。

このような状況の中、環境の変化に対応し、持続可能な活力ある社会を創っていくためにも、全ての人々が性別や年齢にとらわれることなく一人ひとりの個性、資質、能力を認め合い、十分に発揮し、支えあって暮らせる男女共同参画社会の実現が不可欠といえます。

桐生市では、社会状況の変化や市民意識調査結果等を踏まえ、これまで各施策の指針としてきた「桐生市男女共同参画計画（平成23年度～平成27年度版）」を継承しながらもさらなる推進を図るため、今回「桐生市男女共同参画計画（平成28年度～平成32年度版）」を策定いたしました。

「男性にとっての男女共同参画の推進」、「女性や子どもに対するあらゆる暴力の根絶」を強化項目とし、男女が対等に社会参画をし、ともに役割や責任を分かち合って暮らせるまちを築いていくための施策を展開してまいります。

男女共同参画はあらゆる分野に関わることから、市民・企業・地域活動団体等、多くの皆様とともに力をあわせて取り組みを進めていくことが必要ですので、皆様の一層のご理解、ご協力をお願い申し上げます。

本計画の策定にあたりましては、「桐生市男女共同参画推進協議会」の皆様にご多大なご尽力をいただきました。また、市民意識調査にご協力いただきました皆様や、貴重なご意見・ご提案をお寄せいただきました皆様に心から感謝申し上げます。

平成28年3月 桐生市長 亀山 豊文